

ごちゃまぜ 座談会

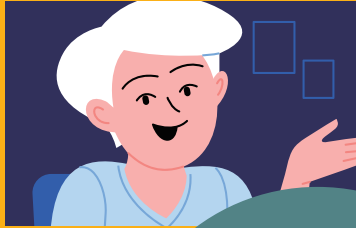
～映画『30 (さんまる)』を観て話そう～



「映画」さんまる
COMMUNITY MOVIE
30

一緒に
考えて
みませんか。

自分と
自分の周りを
はっぴーにする
コミュニティって
どんなだろう。



2024年10月5日(土)
14:00～17:30(開場13:30)
南山大学G30教室

〒466-8673 愛知県名古屋市昭和区山里町18
地下鉄名城線「八事日赤」より徒歩8分
鶴舞線「いりなか」1番出口より徒歩15分

映画『30』上映会&鈴木監督のトークライブ

参加費

参加費無料

※映画上映会と座談会の両方にご参加ください。

定員

定員80名・事前予約制・先着順

【申込受付期間:8/21(水)～9/27(金)】

申し込み方法

Peatixにて

※未就学児の同伴や車イスのご利用等
がある場合には、可能な範囲で対応さ
せていただきますので、まずはPeatixの
特記事項にご記入願います。



問い合わせ先

南山大学社会倫理研究所

(ise-office@ic.nanzan-u.ac.jp)

主催:南山大学社会倫理研究所、ごちゃまぜ実行委員会

後援:南山経済人クラブ

映画『30(さんまる)』とは？

多世代型介護付きシェアハウスはっぴーの家ろっけんを舞台としたコミュニティムービーです。ここでは、要介護の高齢者を中心に赤ちゃんから若者、外国人までが集まり、お喋りしたり、お酒を楽しんだり、暮らしを営む日常の光景が見られます。映画では、家庭や職場、学校とは異なる居場所でどんな人々がどんな想いを持って生きているのかが描かれています。

鈴木七沖(すずき・なおき)監督

編集者・映像作家・きっかけクリエイター。数種類の就業体験を経たのちの1997年、出版社に入社。編集長と取締役を経験してから2018年1月に独立。これまでに約160冊の書籍を企画・編集し、総実売部数は330万部を超える(代表作:「原因と結果の法則」シリーズ累計107万部、絵本「いのちのまつり」シリーズ累計24万部、斎藤一人シリーズ累計61万部、ほか)。また、2011年よりドキュメンタリー映画を制作して発表。『村上和雄ドキュメント「SWITCH」』は、国内外約450か所で上映、12万人以上の観客を動員。現在は、数社の顧問編集者のほか、町づくりコミュニティサロン「風の町」や著者の数々のイベントの企画運営を行なっている。



ごちゃまぜ 座談会

映画『30(さんまる)』を観た後、参加して下さった皆さまと、5~6人のグループに分かれて、映画を見て感じたことや考えたこと、これからの繋がることなどをざっくばらんに話し合います。

タイムスケジュール

- 14:00 趣旨説明
- 14:10 映画『30(さんまる)』の上映
- 16:10 鈴木七沖監督によるトークライブ
- 16:40 参加者全員によるごちゃまぜ座談会
- 17:30 終了

南山大学社会倫理研究所とは？

南山大学の教育モットー「人間の尊厳のために」の内実の解明のために1980年に設立された研究所です。研究者だけでなく実務者とも連携して、内にも外にも開かれた「窓」のような存在を目指しています。



研究所
Webページ

ごちゃまぜ実行委員会からのメッセージ

私たちは、年齢も性別も所属も活動しているフィールドも全く異なるごちゃまぜメンバーです。今回の上映会もこの映画の世界観のように、「ごちゃまぜ」で実施したいと思います。普段、映画館で映画を観ることが難しい方々にも是非観ていただきたいと考えています。

河村隆



サラリーマンを辞めて50歳で起業。人の役に立つことはできないかと、ソーシャルビジネスに根ざした活動をして4年。子供達とSDGsのワークショップ、商店街で居場所づくり、障害施設のマルシェのお手伝い等幅広く活動しています。

小森佳歩



だれもがだれかに声を聴き聴かれるような社会のつくり方に関心があります。学生団体で高校生の進路選択サポートに関わり、現在はシングルマザーの居住支援法人にてインターン中。来年度からは組織開発のコンサルの会社に就職する予定です。

乙倉千夏



中3になる双子の娘と、小4になる息子の母です。県外から愛知にきて、1人での子育てに不安がありました。同じようなお母さんの役に立ちたくて、産前産後ヘルプ事業をしています。

野々山道枝



公立中学校で、教育現場にもっと対話や合意形成を根付かせるために、先生たちとつくる研修に力を入れています。また、身近な人を亡くした子供たちに向けたグリーフサポートのプログラムにも取り組んでいます。